

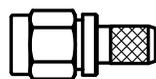


# RP-SMAP-3WA 取付仕様書

適合ケーブル 3D-2W  $\triangle$

専用圧着工具  
TA-34  
(本体表示：DCC 1113)

部品構成



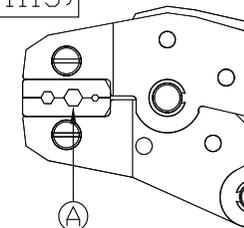
シェル



中心コンタクト



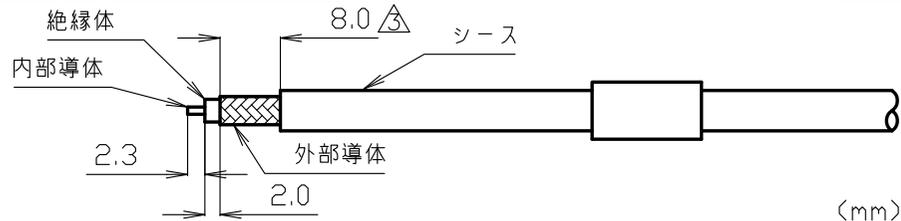
圧着スリーブ



図番  
J-1192564

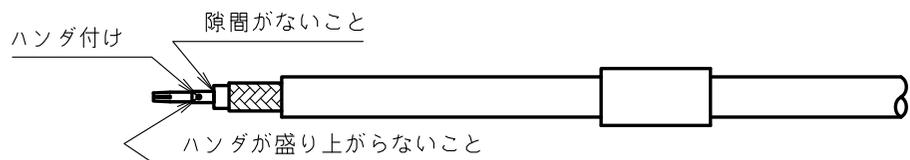


製図	検図	承認	確認
栗原 '18.05.08	檜澤 '18.05.08	山本 '18.05.08	三村 '18.05.08



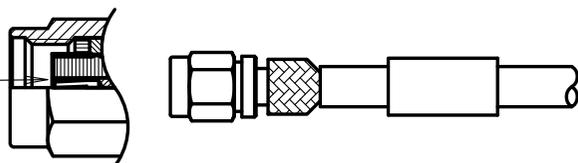
番号	変更・記事	日付
$\triangle$	社名変更	2012.01.05
$\triangle$	適合ケーブル追記	2014.01.30
$\triangle$	7.0 → 8.0 寸法追記	2014.01.30
$\triangle$	クリンプハイト値 改良	2018.05.08

1 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し シース、外部導体、絶縁体を図中の寸法で切り取る。

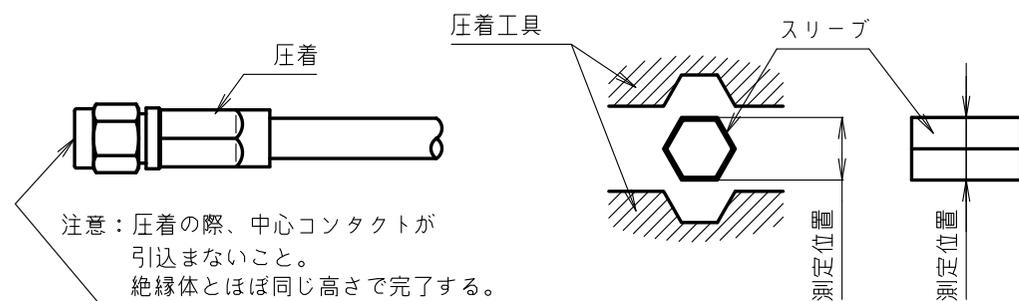


2 中心コンタクトを内部導体に装着してハンダ付けをする。  
注意 1、ハンダが盛り上がらないこと  
2、中心コンタクトと絶縁体の間に隙間がないこと  
ハンダ付け後、中心コンタクトを引張り、抜けないかを確認すること。

中心コンタクトの先端と絶縁体がほぼ同じ高さになるまで挿入する



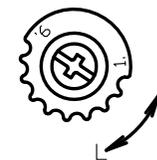
3 シェルを同軸ケーブルの絶縁体と外部導体の間に挿入する。中心コンタクトの先端が、絶縁体とほぼ同じ高さになるまで挿入する。



4 装着が終わったら、圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のA部で圧着して作業を完了する。この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプハイトにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して作業を行なう。

注意：圧着の際、中心コンタクトが引込まないようにする。  
絶縁体とほぼ同じ高さで完了すること

強度調節ダイヤル



測定位置でのクリンプハイト6.54~6.65mm  $\triangle$